

法藏館書店ニュース 2月

目次

話題の本 P1
法藏館新刊案内 P2~3
法藏館刊行予定案内 P3~5
法藏館書店新着案内 P6~11

特集1:浄土三部経 P12~13
特集2:大河ドラマ「光る君へ」紫式部関連本 P14
お知らせ P15
法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P16

★お知らせ★ 2、3月の書店休業日

2月のお休み: 4日・11日・18日・25日

3月のお休み: 3日・10日・17日・24日・31日

話題の本

●図書新聞 (2024/1/20)

『近代日本の思想変動と浄土真宗
一教化・連帯・転向』

佐々木政文著・A5判・418頁・7,150円
ISBN: 978-4-8318-5579-4

●産経新聞 (2024/1/16)

『古墳と壁画の考古学—キトラ・高松塚古墳』

泉 武・長谷川透著・四六判・234頁
2,200円・ISBN: 978-4-8318-7769-7

●東京新聞 (2024/1/6) ●図書新聞 (2023/12/16)

●中外日報 (2023/12/15)

『ためさる日』

一井上正子日記1918—1922』
井上正子著、井上 迅編・四六判・464頁
3,080円・ISBN: 978-4-8318-7759-8

●週間読書人 (2024/1/5)

『近世思想と仏教』

末木文美士著・A5判・416頁・4,950円
ISBN: 978-4-8318-6279-2

●ともしび (2024/1/1)

『親鸞からのメッセージ』

一教行信証の世界』
平野 修著・四六判・280頁・1,760円
ISBN: 978-4-8318-4141-4

4刷

●佛教タイムス (2024/1/1)

『親鸞聖人出家得度時の
無常詠歌の謎』

中路孝信著・四六判・138頁・1,650円
ISBN: 978-4-8318-8783-2

●文化時報 (2024/1/1)

『宗教を問う、宗教は問う』

一コルモスの歴史と現代』
氣多雅子・島蘭 進・金澤 豊・小林 敬編
四六判・384頁・2,200円
ISBN: 978-4-8318-7774-1

【心に響く3分間法話】

『やさしい仏教の話』

桜井俊彦著・四六判・96頁・1,100円
ISBN: 978-4-8318-8979-9

『戒のある暮らし』

一仏教の自分貢献マニュアル』
齊藤隆信著・A5判・200頁・2,200円
ISBN: 978-4-8318-2461-5

●図書新聞 (2023/12/16)

『お地蔵さんと日本人』 2刷

清水邦彦著・四六判・214頁・1,980円
ISBN: 978-4-8318-6273-0

◆ひとりふたり・・——春彼岸を迎える

【真宗／仏教】

四衢 亮編・A5判・24頁・136円

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け！

買い忘れなく安心です！

詳しくは、法蔵館書店まで。

定期購読
受付中！

ためし読み



《目次》

◎いのちの言葉

個・孤の時代の高齢期を私たちはどう生きるか …………… 沢村香苗

◎真宗で終活！ 葬儀は誰のために勤めるのか …………… 小林尚樹

◎はてなの仏教用語 投機 …………… 木村宣彰

◎真宗のしきたりの不思議 冥福を祈らないのはなぜ？ …………… 松本智量

◎おうちで精進料理(春) えんどう豆の葛寄せ …………… 西川玄房

◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ …………… 大來尚順

◎お寺でヨーガ

リハビリヨーガ——健やかな身体を保つ技—— …………… Yai

◎このお経ってどんな意味？ 讃仏偈(嘆仏偈)② …………… 三浦真証



◆文殊菩薩の研究

【仏教】

光川豊藝著、井上博文・金澤 豊編・A5判・898頁・17,600円・ISBN:978-4-8318-7770-3

悪魔に怖れられ、前世の釈尊を発心させた大乘仏教の主役・文殊菩薩。膨大なチベット語・漢訳文献を精査し、文殊經典群を初めて網羅。

■目次

刊行にあたって(井上博文)

第一部 論考編

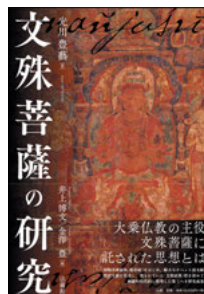
I 文殊菩薩と仏国土

II 文殊菩薩の説法

III 文殊菩薩と女性

IV 文殊菩薩と悪魔 ほか

ためし読み



◆新装版 親鸞セミナー 浄土三部経

【仏教／真宗】

堤 玄立著・四六判・265頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-6599-1

「浄土真宗」の根本聖典を学ぶ人のために、仏教本来の解釈と親鸞の理解とをわかりやすく解説、親鸞思想の特徴を明らかにした入門書。

■目次

はじめに

I 仏典の歴史

II 仏説無量寿経

III 仏説観無量寿経

IV 仏教阿弥陀経

おわりに

ためし読み



法蔵館刊行予定案内

〈2024年3月 刊行予定〉

◆方丈記を読む——孤の宇宙

法蔵館文庫

荒木 浩著・文庫判・336頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2661-9

【文学／随筆】

災害文学の嚆矢としても著名な『方丈記』。この屈指の名随筆を、第一人者による新訳と解説で味読。京都新聞連載記事をもとに全面的に書き下ろされた文庫オリジナル。

◆〈小さき社〉の列島史

法蔵館文庫

牛山佳幸著・文庫判・336頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2662-6

【歴史／民俗】

「村の鎮守」はいかに成立し、変遷を辿ったのか。各地の同名神社群に着目し、現地調査と文献を手がかりに、分野の枠を越えた考察を試みる。

◆増補 天空の玉座

——中国古代帝国の朝政と儀礼

法蔵館文庫

渡辺信一郎著・文庫判・384頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2663-3

【中国史】

国家の最高意志決定はどのような手続きをへてなされたのか。朝政と会議の分析を通じて権力中枢の構造的特質を明らかにし、中国古代の皇帝専制と帝国支配の実態に迫る。

◆岡山県新見の伝説

——玄賓僧都・後醍醐天皇・金売り吉次・人柱

原田信之著・A5判・232頁・2,640円・ISBN:978-4-8318-6284-6

【文学／伝説】

新見に伝わる多数の興味深い伝説の中から、全国的に知られる「玄賓僧都」「後醍醐天皇」「金売吉次」「人柱」の四つについて、その伝承の実態と魅力を味わう。

◆読んで観て聴く 近代日本の仏教文化

森 覚・大澤絢子編・四六判・400頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-5584-8 【仏教／近代】

新旧のメディアを介して、〈聖俗〉が入り混じる形で日常の様々な場に現れた、「信じる」「学ぶ」「楽しむ」が絡み合うバラエティ豊かな仏教文化の諸相を読み解く。

◆近代教育学と浄土真宗

——人間・教育・宗教の根本問題を問う浄土真宗的教育人間学

川村覚昭著・A5判・301頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-5582-4 【真宗／教育】

近代教育学の功罪を指摘し、大乘精神を最も具体化する親鸞の浄土真宗の立場から、近代教育学の脱構築と、浄土真宗的教育人間学の体系化を目指す。

◆雲岡石窟造営思想論

——最盛期第二期諸窟を中心として

八木春生著・B5判・514頁・22,000円・ISBN:978-4-8318-6332-4 【仏教美術／中国美術】

皇帝=如来という独自理念に基づき国家事業として造営された雲岡石窟。その第二期諸窟の全てについて詳しい分析を行い、根底に流れる思想を読み解く。

◆中国道教像研究

齋藤龍一著・B5判・294頁・11,000円・ISBN:978-4-8318-6333-1 【道教／中国美術】

知られざる道教像の全貌を、時代性という縦軸と地域性という横軸をもとに、仏像との関連性を踏まえ、多くの図版を示しながら解明する。日本初の道教像研究書。

◆近現代日本における日蓮信仰

三輪是法著・A5判・548頁・8,250円・ISBN:978-4-8318-5583-1 【仏教／思想史】

田中智学・高山樗牛・石原莞爾・牧口常三郎・北一輝ら日蓮仏教信仰者の言説から、日蓮の思想と生涯が信仰者の心理や行動・思想にいかなる影響を与えたかを考察する。

◆大瀛『横超直道金剛鐱』の意識と翻刻(一)

龍谷大学仏教文化研究叢書

三業惑乱研究会著・A5判・268頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7935-6 【仏教／真宗】

本願寺史上最大の法論事件「三業惑乱」を終結に導いた、親鸞聖人から連綿と伝わる正しい法義とは何かを明かす著作を初めて読解！

◆仏教儀礼の音曲のことは——中世の〈声〉を聴く

柴 佳世乃著・A5判・予784頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6283-9 【仏教／芸能】

法華経読誦は、王権との関わりで、後白河院の時代を画期として芸道化し、のちに書写山圓教寺で花開いた。読経音曲や如意輪講式など、今は絶えた仏教儀礼の声に迫る。

◆貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究

——「別要」教理篇・上 解説・索引

楠 淳證編・A5判・224頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7775-8

【仏教／法相】

貞慶の代表作『尋思別要』の翻刻・訓読・語註・解説を掲載する翻刻読解研究書。その上巻の語彙索引と論義テーマの略解説。

◆章安灌頂の研究

村上明也著・A5判・576頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-7777-2

【仏教／天台】

智顗の門人であり、吉蔵とも交流を持った灌頂。厳密な文献学に基づきながら、灌頂の教学や後世への影響を明らかにした総合的研究。

◆歌合の本質と展開——中世・近世から近代へ

龍谷大学仏教文化研究叢書

安井重雄編・A5判・352頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-7776-5

【文学／和歌】

歌合とは何か。判詞、陳状、社頭歌合、集積と出版、異類歌合、歌合の終焉、近世・近代歌合の全体像、古筆切。中世初期から近代にかけて展開した歌合の本質を明らかにする。

◆選択集の成立と展開——廬山寺本を中心に

春本龍彬著・A5判・予920頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-6073-6

【仏教／浄土宗】

新出資料を交え、現存最古の「廬山寺本」の書誌と推敲跡、さらに他本との関係を検討し、成立過程と展開の全容を書誌研究・思想研究・文献研究等の視点から考察。

◆曇鸞『浄土論註』の新研究

——真宗理解の再構築のために

市野智行編・A5判・328頁・3,300円・ISBN:978-4-8318-7781-9

【真宗学】

親鸞が真宗の大綱として掲げる二種回向。その源泉である曇鸞『浄土論註』を改めて読み直し、真宗理解の再構築を目指す。多様に論じられてきた親鸞思想解明の挑戦的新研究。

◆源隆国編『安養集』の研究

梯 信曉著・A5判・932頁・17,600円・ISBN:978-4-8318-7929-5

【浄土教／仏教】

浄土教教理学の諸問題を網羅した源隆国編『安養集』全10巻の書下しに、現代語訳・語註・引用經典の典拠を付し、各巻引用文献一覧を収載。浄土教研究者必備の書。

◆日本天台における根本思想の展開

大久保良峻著・A5判・471頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-6280-8

【仏教】

天台思想と密教が根本法門である日本天台宗。最澄から円仁、安然へと継承され展開した教学が多彩な成果として結実し、最澄説が中世天台宗にいかにかに受容されたかを解明。

◆日本仏教に未来はあるか

平岡 聡著・四六判・258頁・2,750円〈春秋社〉

このままでは日本仏教に未来はない！

律の不在、納得いかない葬式、閉鎖的な僧団……僧籍も持つ仏教研究者の著者が現代日本仏教の問題を批判しつつ、戒律復興、僧団改革、仏教の現代に対する有効性提示、葬式再建を提言し、日本仏教を未来につなごうとする。



ちくま学芸文庫 シ-45-1

◆唯信鈔文意

親鸞著、阿満利磨解説・文庫判・149頁・1,100円〈筑摩書房〉

念仏は修行などかなわない我々のために阿弥陀が用意した「行」であり、阿弥陀のはたらきそのもの。念仏すると阿弥陀の心が無意識下に入り込み、将来我々を浄土に連れていく——『教行信証』と並ぶ代表作にして親鸞思想のエッセンスが詰まった最高の念仏入門。



真宗新書

◆親鸞入門

一楽 真著・新書判・237頁・968円〈東本願寺出版〉

850年の昔、この日本に生まれた浄土真宗の宗祖・親鸞。その生涯における重要な事績を辿りながら、私たちが人生において何を本当に問題とし、何を拠り所として生きるのかを尋ねる。親鸞の生涯、そして浄土真宗の教えに初めてふれようとする方にも最適な入門の書。



ちくま新書 1747

◆ブッダという男

——初期仏典を読みとく

清水俊史著・新書判・221頁・968円〈筑摩書房〉

ブッダは平和主義者でもなければ万人の平等を唱えたわけでもなかった?! これまでの解釈を斥け、初期仏典の丹念な読解からその先駆性に迫る革新的ブッダ論。



角川選書 669

◆基本史料でよむ 日本仏教全史

大角 修編著・四六判・478頁・2,750円〈KADOKAWA〉

日本人の生活文化に深く浸透している仏教。古代の鎮護国家から、近現代の神仏分離や戦争協力まで、社会や人々に影響を与えた文献を、その時代背景や文脈とともに解説する。重要文献100点超を収録する、本文フルカラーの史料集！



◆増補改訂 玄奘三蔵訳

『唯識三十頌』要講

太田久紀著・四六判・328頁・3,300円〈大法輪閣〉

リンゴは本当に赤なのか？『唯識』・・・それは心により全ての現象が生み出されると説く、科学と哲学の面をそなえた仏教の心理学。

唯識思想の根本聖典の一つ「唯識三十頌」を丁寧に読み解く。



◆現代語訳 法華玄義釈籤(下二)

菅野博史・松森秀幸訳註・A5変判・556頁・7,700円〈東洋哲学研究所〉

中国・天台宗の中興の祖、妙楽大師湛然は、天台三大部の『法華玄義』『法華文句』『摩訶止観』に注釈をつけ、智顗の教理の研究と普及に努めた。本書は湛然の注釈書『法華玄義釈籤』に詳細な注を付した現代語訳である。釈籤巻第十七～巻第二十を収める。『現代語訳 法華玄義釈籤』全四冊の完結巻。



第三文明選書19

◆摩訶止観(Ⅱ)

菅野博史訳註・新書判・725頁・2,970円〈第三文明社〉

天台大師・智顗(ちぎ)の代表作『摩訶止観』。本書は詳細な語注を付した全文の訓読訳(全4冊)で、(Ⅱ)には『摩訶止観』原著の「巻第三下」から「巻第五下」までを収録。「巻第五上」には、「一念三千」が説かれる「正修止観章」が収められている。



講談社現代新書 2725

◆謎とき 世界の宗教・神話

古市憲寿著・新書判・269頁・1,100円〈講談社〉

歴史を学ぶにも、現代を考えるにも、これだけはおさえておきたい知識がゼロからわかる! 「聖書」、ゾロアスター教、北欧神話、『論語』……個性豊かな12人の専門家に、古市憲寿が読者に代わって理解の「ツボ」を聞いた! 各宗教・神話の基礎がわかる解説マンガ付き!



◆一冊でわかる神道と日本神話

——「わが国の起り」「日本人の心の原点」を読み解く

武光 誠著・四六判・237頁・1,650円〈河出書房新社〉

神道にまつわるしきたりから神社の知識、アマテラスなどの神々のエピソードまで、日本文化のルーツを理解する知識をやさしく解説。



◆図説 ここが知りたかった!

伊勢神宮と出雲大社

瀧音能之監修・四六判・220頁・1,815円〈青春出版社〉

ヤマト政権が重んじた伊勢神宮と出雲大社。社殿建築、神事、創建の経緯、歴史などテーマを挙げながら両社を比較。その対称性を浮き彫りにするとともに、概観を平易に解説する。



角川新書 K-440

◆陰陽師たちの日本史

斎藤英喜著・新書判・279頁・1,056円〈KADOKAWA〉

陰陽師は安倍晴明「以後」も権力の中核にいた!? 平安から戦国、江戸、さらには明治期まで活躍したその知られざる姿・歴史を、祭祀・呪術の研究者が解明する。



朝日新書936

◆ブッダに学ぶ老いと死

山折哲雄著・新書判・192頁・869円〈朝日新聞出版〉

俗人の私たちがブッダのように悟れるはずはない。しかし、紀元前500年ごろに80歳という高齢まで生きたブッダの人生、特に悟りを開く以前の「俗人ブッダの生き方」、あるいは「最晩年の生き方、死に方」に長い老後を生きるヒントがある。坐る、歩く、そして断食往生まで、老いと死と向き合う実践的な知恵を探る。



◆人間ざかりは百五歳

大西良慶・平櫛田中著・四六判・210頁・1,980円〈佼成出版社〉

どのように生き、どのように死ぬか。

古今東西で追究され続けてきた、人間にとって永遠の問い。清水寺貫主を務めた高僧・大西良慶和上と、文化勲章を受章した彫刻家・平櫛田中氏、一世紀を生きた二人がそれぞれの人生観を提示する。



◆あなたも狂信する

——宗教1世と宗教2世の世界に迫る共事者研究

横道 誠著・四六判・237頁・2,530円〈太田出版〉

世間から問題があるとされる宗教に入信する動機とは？ エホバの証人2世である著者が、自身の体験と知識、さらに宗教被害を受けたと考える脱会済みの1世信者と2世信者たちへの聴きとりを通じて、彼らの体験世界に迫る。



◆柳宗悦の視線革命

——もう一つの日本近代美術史と民芸の創造

西岡文彦著・四六判・370頁・4,950円〈東京大学出版会〉

博覧強記の巨人・柳宗悦。その活動はそのまま、近代日本が強いられた、知的かつ美的な苦闘の縮図である。「全球的時代状況との同時的感応」という世界的な知と美の変動の中を疾走した柳の軌跡を通し、もう一つの日本近代美術史の可能性の中心と民芸の創造のダイナミズムを描く。



◆鎌倉時代仏師列伝

——慶派・円派・院派

山本 勉・武笠 朗著・A5判・231頁・2,750円〈吉川弘文館〉

院政期以後、仏師たちは院派・円派・奈良仏師の三派に分かれていたが、鎌倉時代には奈良仏師から慶派も生まれ、京都・奈良・鎌倉や地方の寺々で腕を振るった。運慶・快慶・院尊・湛慶・隆円・善円ら39名の仏師をとりあげ、事績と作風の特徴を図版とともに解説する。優れた造仏の技量に加え、時代と社会のなかでの個性豊かな生き様に迫る。



◆発見！ ほとけさまのかたち

——わくわくする仏像の見方

奈良国立博物館監修・A5判・127頁・1,815円〈河出書房新社〉

表情の意味は？ ポーズの意味は？ 着物の意味は？ ほとけさまの造形から読み解く仏像の見方!! 親子で楽しめる、いちばんわかりやすい仏像ガイド!! 奈良国立博物館の好評展覧会が増補書籍化!!



◆怖い仏像

地人館編、帆足てるたか写真・A5判・175頁・1,980円〈Gakken〉

明王、閻魔大王、金剛力士、四天王、十二神将……忿怒の相でにらむ、見るからに怖い仏像から、その多くは怖くないのに例外的に怖い仏像、見た目は怖くなくてもルーツや造された経緯など存在自体が怖い仏像まで。日本各地の「怖い仏像のひみつ」を豊富なビジュアルと詳細な解説文で紐解き、怖さの中に秘められた慈悲の心を知る1冊。



◆石仏エッセイ 野の仏の風景

中野高通著・四六判・178頁・1,760円〈青娥書房〉

野や路傍に佇む石仏に、じっと手を合わす人を各地で見かける。この姿は、本当に美しい。かけがえのないものに祈る、そのひと時の安らぎを覚える。庶民の信仰が生き生きとつながる様を、石仏愛好家が自らの目と足で辿った石仏讃歌。石仏へこめた祈りを現代の眼で伝える。

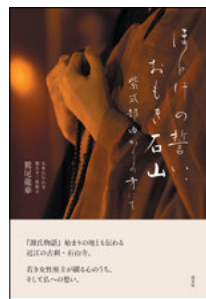


◆ほとけの誓い、おもき石山

——紫式部ゆかりの寺にて

鷺尾龍華著・A5判・127頁・2,200円〈筑摩書房〉

滋賀県大津の南端、琵琶湖から流れる瀬田川西岸に位置し、紫式部ゆかりの古刹として知られる真言宗の大本山石山寺。本書は同山五十三世座主を務める鷺尾龍華氏のエッセイをまとめた初の著書。



◆京都を歩けば「仁丹」にあたる

——町名看板の迷宮案内

樺山 聡・京都仁丹樂會著・四六判・199頁・1,980円〈青幻舎〉

京都の街角に残る、「ヒゲの紳士」が描かれた「仁丹」の町名看板。この看板は京都市内でかつて1,000枚以上が確認されていたが、今や550枚にまで落ち込み、絶滅の危機に立たされている。



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 2月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 七尾旅人さん(シンガーソングライター)
歌のなかでは不公平な現実を逆転させたい。

◎特集 カウンターカルチャー
——世にあらがう文化にふれる

連載

書いて学ぶ 親鸞のことば 歎異抄……鶴見 晃
古写真でつづる東本願寺 ほか

◆大乘 2月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

・ご機言!お寺の掲示板……………江田智昭
・和のこころ 親鸞聖人のご和讃……………玉木興慈
・親鸞聖人いまずば
「内に虚仮を懷ければなり」……………朝戸臣統
・大乘 ほうわ・HOWA・法話
「仏さまにであうということ」……………西原祐治 ほか

特集1 浄土三部経

浄土三部経発売を記念して、関連本をご紹介します。

新装版 親鸞セミナー 浄土三部経

2月9日発売

堤 玄立著・四六判・256頁・2,200円〈法蔵館〉ISBN:978-4-8318-6599-1

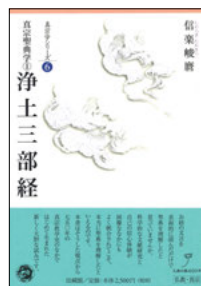
「浄土真宗」の根本聖典を学ぶ人のために、仏教本来の解釈と親鸞の理解とをわかりやすく解説、親鸞思想の特徴を明らかにした入門書。



【真宗学シリーズ6】 真宗聖典学①浄土三部経

信楽峻麿著・四六判・280頁・2,750円〈法蔵館〉ISBN:978-4-8318-3276-4

経典成立史と大乘仏教での位置づけを踏まえ、如来・浄土・本願などの浄土教の教えの意義を、現代の課題に照らしてわかり易く解説。



現代語訳 大無量寿経

——躍動するいのちを生きよ

高松信英著・四六判・160頁・1,760円〈法蔵館〉ISBN:978-4-8318-4037-0

浄土三部経の中心である「大無量寿経」を初心者向けに現代語訳。浄土真宗のお経には何が書かれているかがわかるハンディな一冊。



新装版 現代語訳 観無量寿経・阿弥陀経

——浄土への誘い

高松信英著・四六判・168頁・1,760円〈法蔵館〉ISBN:978-4-8318-4038-7

女性の救いと王舎城の家庭悲劇を説く『観無量寿経』と念仏を勧める『阿弥陀経』をわかり易く現代語訳。初めてお経を読む人にもおすすめ。



『大無量寿経』の仏者親鸞

——宗祖の三部経観

延塚知道著・四六判・363頁・2,420円〈東本願寺出版〉

『大無量寿経』・『観無量寿経』・『阿弥陀経』——。なぜ浄土真宗はこの浄土三部経に依るのか。

釈尊が目覚めた真実を説く数多の経典の中、ただこの三経に凡夫の救済の道理を見出した親鸞聖人の実践的仏道観に迫る一冊。



【角川ソフィア文庫H116-3】 全文現代語訳 浄土三部経

大角 修訳／解説・文庫判・381頁・1,188円〈KADOKAWA〉

「浄土三部経」の全文を現代語訳。祭礼のにぎわいやリズムを重視しつつ、象徴的でくりかえしの多い言葉などを詩歌の文体にならって適宜改行、章題・小見出しによる区切りを設け、読みやすく整理する。



現代日本語訳 浄土三部経

正木 晃著・四六判・304頁・2,750円〈春秋社〉

浄土宗・浄土真宗の基本経典である『阿弥陀経』『無量寿経』『観無量寿経』の三経を、難解な仏教用語を避けて誰でもわかるよう現代語訳。

巻末に、経典の成立過程や阿弥陀仏の起源、本願、信仰の実態についての詳細な解説も付す。



浄土三部経(現代語版)

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B6判・246頁1,320円〈本願寺出版社〉

註釈版の『聖典』により、今日的な学問研究の成果をとり入れ、仏説無量寿経・仏説観無量寿経・仏説阿弥陀経の〈浄土三部経〉が、わかりやすい現代語訳に。脚註を付し、言葉に込められた深い意味が理解できるよう配慮されている。



特集2

大河ドラマ 「光る君へ」

紫式部 関連本

現在放送中のNHK大河ドラマ「光る君へ」の主人公である紫式部。
在庫僅少のレア本を含め、関連本をご紹介します。

源氏物語千年紀記念

残部僅少

◆紫式部伝——その生涯と『源氏物語』

角田文衛著・A5判・614頁・9,680円・ISBN:978-4-8318-7664-5

今まであまり定かでなかった紫式部の生涯と周辺を精細に研究し、
その実像を明らかにした注目の大冊。 〈法蔵館〉



◆仏教百人一首 ——万葉の歌人から宮沢賢治まで

大角 修編著・四六判・250頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-5717-0

和歌や俳句に仏や寺がよく詠まれており、心に響く日本の仏教を伝える。
古代から近現代まで、仏教のあゆみを歌でたどる。〈法蔵館〉



◆紫式部と清少納言が語る 平安女子のくらし

鳥居本幸代著・四六判・224頁・1,980円

紫式部や清少納言をはじめ、厳格な規範や習慣に縛られ苦悩を抱え
ながらも幸福を求め人生を謳歌した女性たち。古典文学をわかりやす
く、より深く愉しむための新たな知見や視点満載の書。 〈春秋社〉



◆光と陰の紫式部

三田誠広著・四六判・274頁・2,640円

幼くして安倍晴明の弟子となり卓抜な能力を身に着けた紫式部。皇
后彰子と呼応して親政の回復と莊園整理を目指し、四人の娘を四代
の天皇の中宮とし皇子を天皇に据えて権勢を極める藤原道長との
宿縁の確執。書き下ろし長篇小説。 〈作品社〉



こちら
も
お
す
す
め

◆藤原道長

法蔵館文庫

山中 裕著、大津 透解説・文庫判・282頁
1,320円・ISBN:978-4-8318-2650-3

栄華を極めた道長を史料から叙述、人間関係から人物像を浮かびあがらせ、
既存の図式的な権力者のイメージを排して史実の姿に迫る。 〈法蔵館〉

お知らせ

*****「2月22日は猫の日!」*****

法蔵館書店にて発売中の、猫が出てくる本を集めました。

6匹の猫と住職

——あるがままに暮らす那須の長楽寺

那須の長楽寺著・A5判・127頁・1,320円〈主婦の友社〉

心にしみる住職の言葉や蔵出し猫画像が満載!

創建400年の那須高原の古寺、長楽寺で暮らす住職、おかみさん、猫たちのにぎやかで平和な日々から珠玉の言葉をお届けします。



てらふくねこ

——家族の縁をつなぐお寺の福猫たち

那須の長楽寺著、石原さくら写真・B5変判・111頁
1,320円〈KADOKAWA〉

「猫全のせ」で一躍有名になった「那須の長楽寺」の猫写真集第2弾が登場。「那須の長楽寺」で福猫としてしあわせに暮らしている様子を撮り下ろし。



仏にゃんの ふわもこやさしい仏教の教え

Jam著、柊野俊明監修・四六判・167頁・1,430円〈笠間書院〉

猫の「仏(ほと)にゃん」が、仏教語由来の身近な言葉から、仏教の教えをやさしく解説。人間関係から自分自身、世の中まで、生きづらいこの世の悩みを解決し、身も心も軽くなる67の言葉とヒント。曹洞宗徳雄山建功寺住職・柊野俊明さん監修。



PHP文芸文庫

猫を処方いたします。 第11回京都本大賞受賞!

石田 祥著・文庫判・304頁・902円〈PHP研究所〉

京都市中京区の薄暗い路地にある「中京こころのびょういん」。心の不調を抱えてこの病院を訪れた患者に、妙にノリの軽い医者が処方するのは、薬ではなく、本物の猫だった!?

猫を処方いたします。2

石田 祥著・文庫判・288頁・902円〈PHP研究所〉



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(1月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
2	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
3	舍利弗の物語—阿弥陀經の黙った主役	大窪康充	京都月出版	1,100円
4	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
5	正信偈講義Ⅱ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	1,100円
6	浄土真宗あったか年賀状 文例集	浄土真宗本願寺派 安芸教区 佐伯典組 林郁子絵	方丈堂出版	330円
7	江田智昭が語る お寺の揭示板入門	江田智昭	本願寺出版社	1,100円
8	生誕160年新装版 清沢満之先生のことば	生誕100年 記念出版 大河内了義・ 佐々木蓮磨編	永田文昌堂	1,100円
9	親鸞聖人の一生	今井雅晴	自照社	2,200円
10	内奥への旅—親鸞聖人の「二河白道」観	羽田信生	方丈堂出版	2,200円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会 検索

友の会
会員証

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458
発行人: 西村明高
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00
祝 日: 10:30～18:00
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!